

平成 28 年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

平成 29 年 2 月 10 日

学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 思いやりの心を育てる取組は、業前時間等を利用したたてわり活動に継続的に取り組むこと等で、児童もよく育っている。
- 読書活動の推進については、「家読の日」「親子読書」などの新しい取組により積極的に推進されている。
- 学力向上については、学び合いの手法を各学級で取り入れ、授業改善に努めていることや、ICT 機器を効果的に活用し分かる授業作りに努めていることが保護者にも理解され評価が向上していると思われる。
- 体力向上について、環境整備に努めることで、運動の日常化が図られている。

(2) 成果について

- 保護者アンケートの提出率も高く、保護者の学校への関心の高さがうかがえる。
- 前年度の比較で、評価が向上した項目も多く、前年度の反省点を生かし改善に当たってきた成果だと思う。
- 学校の自己評価も全般的に高い評価になっており、先生方が精力的に取り組んだことにより、自分たちの教育活動の一定の成果と達成感につながっているのではないかと。

(3) 課題や改善を要する事項について

- 地域連携については、地域コーディネーターとの連携を密にし、一層の推進を図るとともに、保護者のボランティア参加意識を高める工夫が必要である。
- 生徒指導関係では外部との連携を密にするとともに、迅速な対応を心掛け、近隣学校とも一層の連携を図る必要がある。
- 1年生の保護者など初めて小学校に通わせている保護者のためにも、PTAの広報誌なども活用し、積極的に学校の教育活動を発信してほしい。
- 多くの児童が読書に親しむため「図書便り」等を活用し、本の紹介などをしていく。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<p>○毎年の評価を基に改善と実践の取組はすばらしく、保護者にもその姿勢が十分伝わっているように思う。</p> <p>○学校は教育の場として日々先生方の努力で進展しており、さらに今後も努力し、実力を発揮しよりよい小学校を目指してほしい。</p> <p>○各種おたよりなど、写真を多く取り入れており活動内容も分かりやすく工夫されている。</p> <p>○危機管理マニュアルもよく整備されているが、マニュアルを実際に活用した訓練を実施するなど、実効性のあるものにしていくとともに、定期的な見直しが必要である。</p>
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	<p>○授業について、毎年児童の実態を的確に捉え、先生方が授業の工夫改善を図っている。</p> <p>○たてわり活動は思いやりや自分発見にもつながり大変よい取組なので、今後も継続して取り組んでほしい。</p> <p>○心の教育については、より一層、家庭との連携を図り推進してほしい。</p> <p>○交通安全教室はより実践的な取組が必要である。</p> <p>○スクールカウンセラーをはじめ外部機関の役割等を保護者に具体的に周知するとよい。</p>
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	B	<p>○読書活動の推進については、今後も全家庭に広めてほしい。</p> <p>○環境教育など学校だけでなく地域・子ども会等とも連携し取り組んでいくことが大切である。また、空き缶回収については活動ありきではなく、活動の意義を理解させ、児童の意識を高めることが大切である。</p> <p>○美化活動は校庭など校内だけでなく、公園や通学路のごみ拾いなどもするとよい。</p>
	2 特別支援教育	A	
	3 図書館教育	A	
	4 健康教育	B	
	5 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		A	<p>○学校と地域が連携するために学校が積極的にかかわるなどの工夫が必要である。</p> <p>○地域の方々や保護者が実際にボランティア体験をすることで、参加意識を高めることにつながると思うので、ボランティアの内容など詳細を周知することが大切である。</p>